

グループホームきぬの里

(別紙6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0990900011		
法人名	株式会社ファミリーホームなか		
事業所名	グループホームきぬの里		
所在地	栃木県真岡市中313-3 (電話) 0285-83-5355		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成22年3月4日	評価確定日	平成22年4月14日

【情報提供票より】(平成22年2月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年4月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤8人(兼務2人)、非常勤1人、常勤換算8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 1階建ての1階部分
------	-----------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000円 ~35,000円	その他の経費(月額)	・光熱水費-20,000円 ・日用品費-150円 ・清掃業務委託費-3,000円 ・おむつ代-15~115円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合償却の有無	無 (居室の補修等退去時に清算)	
食材料費	朝食	300円	昼食	450円
	夕食	450円	おやつ	200円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成22年2月10日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	3名	要介護2		1名	
要介護3	1名	要介護4		4名	
要介護5	名	要支援2		名	
年齢	平均 85歳	最低	81歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人福田記念病院, 報徳歯科診療所
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは真岡市で初めて開設されたグループホームである。工業地帯に通じる幹線道路沿いに立地し、周囲は数件の民家と林と畑に囲まれた落ち着いた環境にあり、柔らかな色合いの木造平屋の建物である。同じ敷地内には小規模多機能型居宅介護事業所があり連携が図られている他、来年4月には2ヶ所目のグループホームの開設を予定している。ホームでは独自の理念として「やすらぎとよるこびの日々」を掲げ、入居者及び家族からの意見や要望、地域との交流を大切にしており、入居者一人ひとりが今までどおりの生活が継続できるよう支援に努めており、職員間でも方針の共有が図られている。管理者は認知症キャラバンメイトの指導者でもあり、家族や地域などに対して認知症の理解促進にも取り組んでいるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 運営者及び管理者は評価の意義を理解しており、外部評価の結果は真摯に受け止め、改善に向けた取り組みに活かしている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は、管理者がまとめたものを全職員に見てもらい、職員から意見を参考に再度、管理者がまとめあげて仕上げています。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は入居者家族、自治会長、地区民生委員、市職員が構成員となり、2ヶ月毎に開催している。会議ではホームの運営状況や行事、入居者の暮らし等に関する報告を行うとともに家族からの要望、地域行事の予定等を教えてもらっている。また、ホームの周知についての助言をもらっている。すべての家族に呼びかけているが特定家族の出席が多い状況にある。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 重要事項説明書にホームの苦情等受付窓口及び処理体制・手順を明記しており、家族へは入居時に説明をしている。玄関には苦情・意見箱を設置しているが、苦情や意見等が寄せられたことはない。家族からは来所時等に意見や要望等の確認を行っており、例えば外出先やホームでの書道の実施等の要望を日々の支援に取り入れている。苦情や意見等が出された時は、申し送りノートで職員間での情報の共有や話し合いにより改善に努めている。
	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入している。回覧板を廻してもらい地域の行事や小学校の運動会等に参加している他、地域住民や近隣中学生が授業の一環としてホームの草むしりに来所している。また、毎月ボランティアによる踊りや民話等の慰問の来所があり、入居者との交流も行われている。地域密着にふさわしいホームになるよう、職員は地域との交流に努めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「やすらぎとよるこびある日々が一人一人に伝えることが出来る介護の展開」という基本理念を開所時につくりあげており、認知症になっても家庭的な雰囲気の中で地域や家族とのつながりを持ち続け、今までの生活の維持を支援していくことを目標に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム玄関に理念を掲示をしている他、毎月の職員ミーティング時等を利用して理念の確認を行うと共に、利用者一人ひとりのホームでの暮らしぶりや身体状況の共有に努め、日々理念の実践に向けた取り組みに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入している。回覧板を廻してもらい地域の行事や小学校の運動会等に参加している他、地域住民や近隣中学生が授業の一環としてホームの草むしりに来所している。また、毎月ボランティアによる踊りや民話等の慰問の来所があり、入居者との交流も行われている。地域密着にふさわしいホームになるよう、職員は地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者及び管理者は評価の意義を理解しており、外部評価の結果は真摯に受け止め、改善に向けた取り組みに活かしている。今回の自己評価は、管理者がまとめたものを全職員に見てもらい、職員からの意見を参考に再度、管理者がまとめあげて仕上げていく。		

グループホームきぬの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は入居者、家族、区長、市担当職員、地域包括支援センター職員等で構成されており、2ヶ月に1度開催している。会議ではホームでの利用状況や行事等の報告を行い、参加者からは地域での情報提供やホームへの意見や助言を出してもらい、サービス向上に役立っている。	○	運営推進会議における詳細部も議事録に記載していくと共に職員にも回覧を行い、会議の内容を共有していく取り組みにも期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には市担当職員が出席しており、ホームの状況や課題を把握してもらっている他、制度上の情報交換も行っている。また、管理者は市の介護認定調査員やキャラバンメイトの指導者も務めており、市との行き来が頻繁にある他、市で開催される研修会や勉強会にも積極的に参加する等、市との連携に努めている。	○	市とホームの連携が構築されてきていることから、今後、市と協働で地域住民への認知症に対する理解を促進していく取り組みに期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月家族にホームでの行事等の写真を掲載した広報誌「きぬの里だより」を職員のコメントを添えて送付している。また、家族の来所時にはその都度、入居者の暮らしぶりや健康状態、職員の異動等についての報告もしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関には意見箱の設置と外部の苦情受付機関が掲示されている。昨年、家族会が発足し、家族間の情報交換やホームへの要望等が出されている。家族から出された意見や要望等は、職員間で情報の共有を図っており、運営に反映させている。	○	今後、家族の認知症への理解の促進やターミナルケアへの取り組み等、家族との連携を図り、ホームへの理解と入居者と家族の繋がりも大切にしていき、さらにホームへの意見や要望が表せる雰囲気作りへの取り組みに期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の採用にあたっては、ホームに適した人材を見極めた採用に努めている。異動や離職時には後任者への引継ぎを徹底している他、併設の小規模多機能型と職員の相互勤務を行う等、馴染みの関係作りに配慮しており、入居者にダメージが出ないように配慮している。		

グループホームきぬの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、地域の公共改善センターを借りて実践模擬体験研修や内部研修を実施しており、多くの職員が参加をしている。管理者は併設の小規模多機能型の管理者も担っており、外部研修には積極的に参加をすすめ、職員の意欲向上及び人材育成に取り組んでいる。	○	管理者は職員の習熟度を見極めながら、介護や認知症に対する理解や知識の習得に向け、計画的に様々な研修会に参加できる様な研修体系の構築への取り組みに期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国及び県のグループホーム協会に加入している。他事業所への訪問や情報交換に取り組んでいる他、サービスの質の向上を図る為に近隣の事業所とのネットワーク作りにも取り組んでいる。	○	市内で初めて開設されたグループホームであり、県グループホーム協会や市等の情報を得ながら市内の同業者の中心的存在となり、ネットワークの構築や職員間での相互訪問や勉強会を通して、サービスの質の向上への取り組みに期待したい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に際しては、本人及び家族も十分納得した上でサービスを開始できるよう、自宅への訪問やホームへの見学を通して、要望や不安の把握、ホームでの暮らしぶりや雰囲気を知ってもらっている。入居者の中には入居当初より認知症による症状が軽減した人もいる事から、職員は入居者一人ひとりの状態把握に努めながら馴染みの関係を築くことに努めている。		
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者と共に食事の準備や後片付け、掃除、洗濯たたみ等を行っている他、日々の生活の中でも喜怒哀楽を共にしている。また、職員は入居者から季節毎の食材や調理方法、味付け等を入居者から学ぶことも多く、共に支えあう関係づくりをしている。		

グループホームきぬの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、入居者との日々の暮らしの中から本人との会話や仕草、表情等から一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。また、家族からの情報や毎月のミーティングで職員間でも情報を共有しており、高齢及び重度化に伴い困難になって来ている入居者の意向の把握にも本人本位の支援に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画の作成にあたっては、本人及び家族の意見や要望を取り入れ、入居者毎の担当職員及び他職員の意見やアイデアを元にミーティング等で協議したうえで、入居者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の日常生活の変化に気付き、家族や関係者と話し合い、柔軟かつ現状に即した介護計画の変更を行っている。3ヶ月に1度、介護計画のモニタリングを行い入居者の状態により見直しをしている。また、怪我や病気により入居者の状態に変化が生じた場合には短期間での見直しも行っている。家族にも計画変更の説明を行い了解を得ている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームでは入居者の担当制を取っており、本人及び家族からの要望に対しては臨機応変に対応している。衣替えの時期には家族に連絡を取り、季節にあった衣類を持参してもらっている。		

グループホームきぬの里


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にかかりつけ医での受診は家族に付添いをお願いしており、殆どの家族が1ヶ月に1度、本人と共にそれぞれのかかりつけ医に受診をしている。通院の状況、受診結果は家族から情報を得ている。また、併設の小規模多機能型の看護師に健康状態等を相談する事もあり、適切な医療が受けられるように支援している。	○	入居者の日頃の身体状況がかかりつけ医への確に伝えられ、家族と職員間で情報伝達がスムーズに行われるよう、連携方法を工夫して診察が受けられるよう期待したい。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族には契約時に重度化した場合の対応方針の説明をしており、終末期のケアへの取り組みについては、家族会でも説明や話し合いをしている。職員間でも本人や家族の要望に応え、入居者のその人らしい最期を迎えられる取り組みの方針の共有に努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホームでは一人ひとりの尊厳に配慮しており、入居前に日々の呼び方について本人や家族に確認を得ており、男性は名字で女性は名前で呼ぶ事が多く、職員間で呼び方を共有している。個人情報保護法も職員に周知徹底されており、守秘義務や書類の管理等に活かされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活の流れはあるが、入居者一人ひとりの要望に添った日課の支援をしている。朝晩の起床、就寝時間等も入居者各々に対応している他、身だしなみを整え出かける人やリビングでテレビを観ながら談笑する人もいる等、一人ひとりのペースに合わせてゆったりとした支援に努めている。		

グループホームきぬの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者は職員と共に交替で食材の買出しに出かけている他、調理や後片付けも出来るところを分担して対応している。食事は入居者と職員が同じ物を会話を楽しみながら食べている。おやつも職員と入居者が一緒に手作りで作っている等、食事が楽しいものとなるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的に昼食後から夕方を入浴時間としている。職員は入居者のプライバシーに配慮しており着脱や声かけ等、一人ひとりの要望やタイミングを見計らいながら入浴の支援をしている。入居者はホームにある檜風呂での入浴を楽しみにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりには体で覚えた記憶を持っており、食事の準備や後片付け、洗濯物たたみ等の役割、貼り絵の下書き、毎日のお茶、植え込みへの水やり等の楽しみ事も持っている。ホーム内を時代劇の音楽にあわせ楽しみながら歩く入居者もあり、その人に合った気晴らしの支援も行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員は天気の良い日には希望する入居者を誘って散歩に出かけている。また、月1回は車で公園や神社等へ弁当を持参しての外出や外食で好きな物を食べに出かける等、外出が楽しいものになるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には鈴を下げ、開けると音が鳴るようにしており、日中玄関への施錠はしていない。職員は鈴の音に耳を傾けながら見守りによる支援をしている。入居者一人ひとりの居室ドアには外側から施錠できるようになっており、施錠は入居者の意思に任せている。		

グループホームきぬの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署や地域の協力を得ての避難訓練を実施しており、日頃より災害時の対応に努めている。避難場所はホームの駐車場にしており、大規模災害時には近隣小学校が避難場所になっている。管理者が防火管理者となっており、災害時の安全・安心に努めている。	○	職員が手薄になる夜間や夜間時を想定した避難訓練を実施していく他、さらに消防署や消防団、地域住民との連携体制を整えていく事に期待したい。また、有事の際に迅速に対応できるようマニュアル類の作成及び共有化、食料や水等の備蓄にも期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は管理栄養士の指導を参考にして栄養バランスやカロリーを考慮したものを職員が作成している。入居者の禁忌食品等にも対応をしている。一人ひとりの食事や水分摂取量をチェック表に記録しており、摂取量が適切に把握できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には家庭的なものを取り入れ、壁には職員と入居者が作成した貼り絵等の作品が掲示されており、明るく落ち着いた空間になるように心がけている。採光や換気には気を付けており、不快な光や臭いは感じられない。床暖房が敷設されており穏やかな暖かさが保たれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時等に本人や家族に使い慣れた品々を持参してもらうようお願いしており、各居室にはテレビ、仏壇等の家電・家具類の他、家族の写真等が持込まれており、本人が安心して生活がおくれるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。